

令和5年度

事業報告書



一般財団法人 石川県予防医学協会

目 次

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要 …… 1 (第1章総則抜粋)	
はじめに …… 2	
1 2023年度事業実施概要 …… 4	
2 職域保健 …… 6	
(1) 総合健康診断・定期健康診断 …… 6	
(2) がん検診 …… 7	
(3) 特殊健康診断 …… 7	
(4) 人間ドック …… 7	
(5) 健康支援 …… 7	
(6) ストレスチェック …… 7	
3 地域保健 …… 8	
(1) 健康診査 …… 8	
(2) がん検診 …… 8	
4 学校保健 …… 9	
(1) 尿検査 …… 9	
(2) 心臓検診 …… 11	
(3) 寄生虫検査 …… 12	
5 医学検査 …… 13	
6 環境検査 …… 15	
(1) 食品検査 …… 15	
(2) 簡易専用水道検査 …… 16	
(3) 作業環境測定 …… 16	
(4) 計量証明事業 …… 17	
7 総務事項 …… 18	
(1) 理事会開催状況 …… 18	
(2) 評議員会開催状況 …… 18	
8 啓発活動報告 …… 19	
9 学会発表状況 …… 19	
10 会議・研修実施状況 …… 20	

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要（第1章総則抜粋）

《名称》

一般財団法人 石川県予防医学協会

《設立》

1952年（昭和27年）10月 8日

《一般財団法人移行》

2013年（平成25年） 4月 1日

《住所》

金沢市神野町東115番地

《目的》

当協会は、疾病の予防、健康の保持及び増進並びに生活環境の保全を図るために必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の発展に寄与することを目的とします。

《事業》

当協会は、前項の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) 予防医学に関する各種健康診断、診療及び検査事業
- (2) 公衆衛生に関する普及啓発及び助成事業
- (3) 公衆衛生に関する調査研究事業
- (4) 生活環境の保全に関する必要な調査研究事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2023 年度（令和 5 年度） 事業報告書

一般財団法人 石川県予防医学協会
理事長 松崎 充意

〈はじめに〉

元日に発生した能登半島地震から 5 ヶ月が経過し、一歩ずつ復旧、復興が進んでおります。被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げ、被災地に一日も早く平穏な毎日が戻ることを願っております。

一方で明るい話題として、昨年 5 月 8 日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが第 5 類に移りしコロナ禍前の日常が戻ってきております。また、本年 3 月 16 日には北陸新幹線が敦賀まで延伸され、金沢開業時を思わせる人流増加が、地元経済に好影響をもたらすものと期待されています。

さて、2023 年度、協会は組織の底上げに取り組みました。より風通しの良い職場づくりに向けて、組織体制の強化を図るとともに、部署横断で DX プロジェクトを展開するなど、業務の効率化を推進し、加速する社会環境の変化への対応力を高めております。

以上のような背景をふまえ事業に目を移しますと、協会の根幹の事業である健康診断事業の受診者数について、職域保健では回復基調にありますが、地域保健では、依然としてコロナ禍前の受診水準には至っておりません。引き続き、企業・団体様や関係機関を通して、対象の皆様へ改めて健康診断の重要性をお伝えし、受診勧奨に努めるとともに、協会として提供しうる付加価値を追求し、協会の存在意義・社会的価値を向上させていきます。

2024 年度のスローガン「一人ひとりの意識改革で新しい協会へ ～みんなの幸せのために～」の下、協会全体で予防医学事業を推進し、県民の皆様の「健康・安全・安心」に貢献できるよう尽力してまいります。

以下、2023 年度(令和 5 年度)展開しました事業を概括いたします。

＜基本理念＞

「すべては お客様のために 社会貢献のために 職員と家族のために」

＜行動指針＞

1. 思いやりの心

- ・何事にも思いやりの心を持って取り組みます。

1. チャレンジ精神

- ・創造力を持ち、失敗を恐れず挑戦し続けます。

1. 精度管理の徹底

- ・「精度管理」を最優先とし、正確な健診、検査を実施いたします。

1. コンプライアンス（法令・規則の遵守）

- ・関係法令、自主規準を必ず遵守します。

1. 継続的改善

- ・高品質のサービスを提供するため、継続的な改善に努めます。

1. 人材育成

- ・自らの役割に責任を持ち、高度な専門性を身に付け、情熱的に行動する人材の育成を推進します。

1. 楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり

- ・基本理念実現に向けて、楽しくやりがいのある働きやすい職場づくりはとても大切です。役職員一人ひとりが主体的に行動し、全員で力を合わせてより良い職場をつくります。

<2023 年度スローガン>

「71 年目 日本一“夢”と“誇り”のある予防医学協会に向かって！」

《事業報告概要》

<事業部門>

1. 健康診断部門では、新型コロナウイルス感染症が第 5 類に移行したこと等により、職域保健における総合健診及び定期健診の受診者数は、前年度比 2,985 名、コロナ禍前 2019 年度比 533 名増加しました。地域保健を含め、引き続き、受診率の向上に尽力してまいります。
2. クリニック部門では、2023 年度も糖尿病外来の実績が堅調に推移しました。また、新たに腸内フローラ検査、脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 (LOX-index) を開始し、付加価値の高いサービスの提供に取り組みました。
3. 臨床検査部門では、自動グリコヘモグロビン分析計を更新し、検査体制を更に強化しました。また、特殊健康診断における尿持帰り検査を拡充しました。
4. 環境検査部門では、食品検査における ISO17025 の認定を更新し、検査精度の維持・向上に努めました。作業環境測定では新規事業として、防護マスクの適切な装着を確認する「フィットテスト」を開始しました。

<管理部門>

1. 能登半島地震では、協会として、自治体、関係団体に義援金、寄付金をお送りしました。また、予防医学事業中央会本部、支部からお見舞金をいただき、被災した職員やその家族への支援に活用させていただきました。
2. DX プロジェクトの一環として、更なる検査精度の向上と効率化を目的とした「ハンディ健診」の導入を計画し、2025 年 1 月の稼働を目指して、鋭意準備を進めました。
3. 「楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり」を推進するため、新賃金制度を構築し、本年 4 月から運用を開始しました。
4. 将来的な新館建設に向けて、昨年 6 月に現在地の正面の用地を取得し、まずは駐車場として同年 11 月から活用を始めました。

1 2023年度事業実施概要

2023年度事業の実施状況は表1のとおりです。

健康診断部門における受診者数について、職域保健では回復基調ですが、地域保健ではコロナ禍前の2019年度比において、依然として厳しい状況が続いています。

医学検査については、他の健診機関からの検査受託を継続しました。

環境検査については、食品検体検査が減少しました。作業環境測定では、新規事業として、防護マスクの適切な装着を確認する「フィットテスト」を開始しました。

表1 健診・検査実施状況

(その1)

▲印は減少

No	健診・検査の種類	2023年度 受診者数・件数	2022年度 受診者数・件数	増減	増減率
1	①健康診断部門／職域保健				
2	健康診断 総合健康診断	35,411	32,296	3,115	9.6%
3	定期健康診断	155,567	155,697	▲ 130	-0.1%
4	小計	190,978	187,993	2,985	1.6%
5	肺がん検診 X線	162,908	162,459	449	0.3%
6	CT	4,355	4,470	▲ 115	-2.6%
7	胃がん検診 XP	23,657	24,851	▲ 1,194	-4.8%
8	上部消化管内 視鏡	5,081	4,243	838	19.8%
9	大腸がん検診 便潜血	57,664	54,943	2,721	5.0%
10	S状結腸内視 鏡	0	0	0	—
11	子宮頸がん検診	8,834	8,375	459	5.5%
12	乳がん検診	9,054	8,634	420	4.9%
13	前立腺がん検診	6,801	6,602	199	3.0%
14	感染症検査・予防接種	34,716	33,620	1,096	3.3%
15	特殊健康診断 法定 有機	10,018	9,481	537	5.7%
16	じん肺	3,092	3,299	▲ 207	-6.3%
17	特化物	12,448	11,723	725	6.2%
18	その他	3,567	3,018	549	18.2%
19	行政指導	4,498	5,233	▲ 735	-14.0%
20	人間ドック	7,953	7,425	528	7.1%
21	健康支援	1,440	1,048	392	37.4%
22	ストレスチェック	59,132	61,277	▲ 2,145	-3.5%
23	腸内細菌検査	115,557	110,376	5,181	4.7%

(その2)

▲印は減少

No	健診・検査の種類	2023年度 受診者数・件数	2022年度 受診者数・件数	増減	増減率	
24	②健康診断部門／地域保健					
25	健康診査	13,789	13,308	481	3.6%	
26	肺がん・結核検診	X線検査	22,309	21,448	861	4.0%
27		CT検査	607	469	138	29.4%
28	胃がん検診	5,977	5,998	▲ 21	-0.4%	
29	大腸がん検診	15,862	15,851	11	0.1%	
30	子宮頸がん検診	2,477	2,196	281	12.8%	
31	乳がん検診	3,178	2,949	229	7.8%	
32	前立腺がん検診	3,544	3,562	▲ 18	-0.5%	
33	健康支援・骨密度測定	1,310	1,274	36	2.8%	
34	③健康診断部門／学校保健					
35	尿検査	136,624	139,497	▲ 2,873	-2.1%	
36	ぎょう虫検査	6,574	8,617	▲ 2,043	-23.7%	
37	学校心電図検査	11,681	11,372	309	2.7%	
38	学校健康診断	21,284	21,624	▲ 340	-1.6%	
39	感染症検査・予防接種	7,068	6,894	174	2.5%	
40	④クリニック部門					
41	保険診療	件数	7,971	8,089	▲ 118	-1.6%
42		点数	8,137,003	9,042,451	▲ 905,448	-10.0%
43	⑤臨床検査部門					
44	臨床検査	19,998	19,764	234	1.2%	
45	⑥環境検査部門					
46	食品検査	10,511	11,330	▲ 819	-7.2%	
47	簡易専用水道検査	828	857	▲ 29	-3.4%	
48	作業環境測定	2,517	2,651	▲ 134	-5.1%	
49	計量証明事業検査	315	317	▲ 2	-0.6%	

2 職域保健

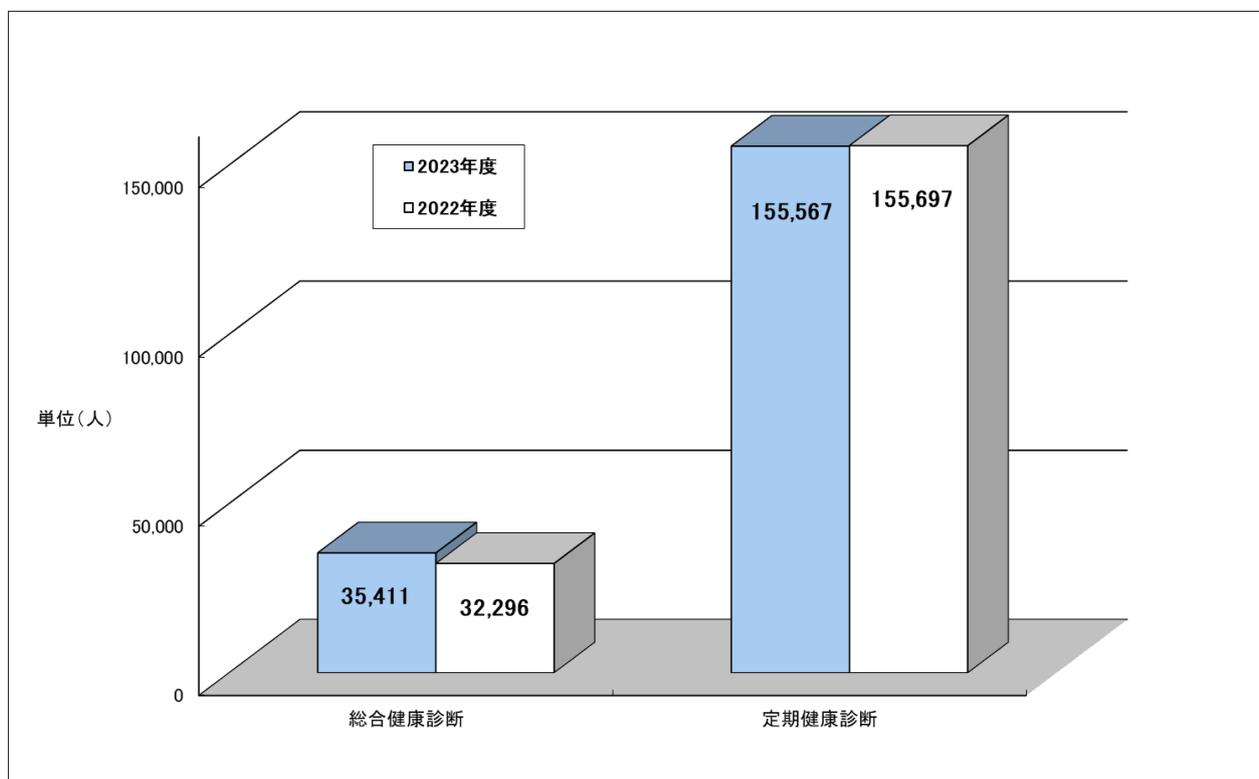
2023年度は、コロナウイルス感染症が5類に移行し、日常生活もコロナ禍前に戻ってきており、2022年度との比較では、ほとんどの検査で受診者数は増加しました。コロナ禍前との比較では、総合健診と定期健康診断の合計数、人間ドックの受診者数はコロナ禍前の人数より増加しました。

健診料金の適正化のため、コロナ禍で見送っていたX線検査のデジタル化への完全移行などによる料金改定を行いました。

新健診基幹システム「ヘルゼア」は、本格稼働から3年目となり、待ち時間の短縮と感染症の予防対策としても有効な施設健診の完全予約制、巡回（出張）健診における時間割制の定着を推進し、安全・安心な受診環境づくりに取り組みました。

また、事務作業の入力業務を中心にRPAを活用した業務の自動化を推進し、生産性や品質の向上を図りながら、お客様満足の上向のみならず職員の負荷軽減に寄与することができました。

図1 定期健康診断実施状況



(1) 総合健康診断・定期健康診断

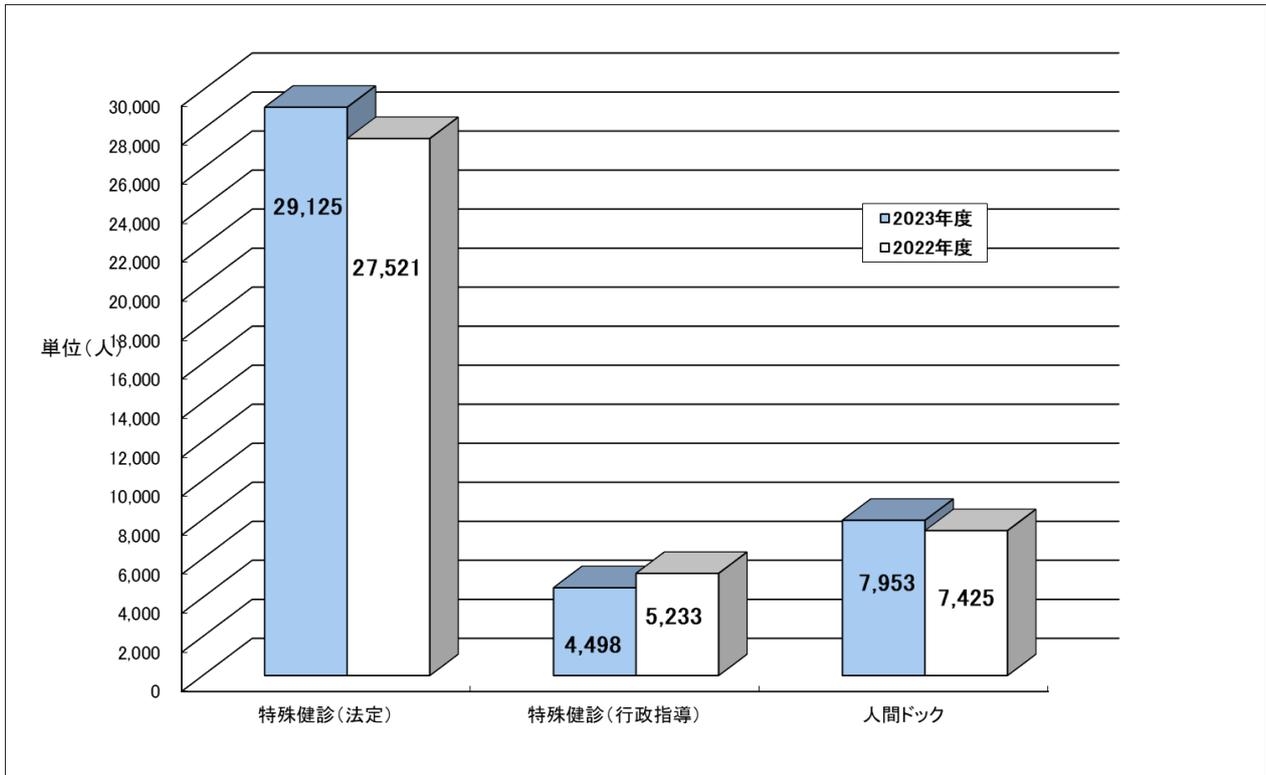
実施状況は図1のとおりです。総合健康診断、定期健康診断を合わせた健康診断の受診者数の合計は、2,985人増の190,978人でした。

法定の定期健康診断にがん検診等を加えて実施している総合健康診断は、健康保険組合・共済組合等の助成も多いため、助成制度を有効に利用いただけるよう、巡回（出張）・施設健診の両方で利用促

進に努めました。

労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断は脳血管疾患、心臓疾患、糖尿病、腎臓病、高血圧症、貧血等の早期発見やリスクの評価には有効な検査内容であり、健康管理の基本的健康診断として広く利用いただきました。

図2 特殊健康診断等実施状況



(2) がん検診

がん検診について、大腸がん検診の受診者数は2,721人増の57,664人、胃がん検診は356人減の28,738人、子宮頸がん検診は459人増の8,834人、乳がん検診は420人増の9,054人、前立腺がん検診は199人増の6,801人、でした。

(3) 特殊健康診断

実施状況は、図2のとおりです。全体では869人増の33,623人が受診され、有機溶剤は10,018人、じん肺健診は3,092人、特定化学物質等の法定特殊健診は12,448人、情報機器作業健診(VDT)等の行政指導特殊健診は4,498人でした。

(4) 人間ドック

人間ドックについては、S状結腸内視鏡を6月から再開し、内視鏡検査の体制がコロナ禍前に戻ったこともあり、受診者数は528人増の7,953人でした。

(5) 健康支援

施設健診では、健診当日の面談日を増やし特定保健指導は392人増の1,440人でした。

(6) ストレスチェック

労働安全衛生法改正に基づくストレスチェックについて、受検者数は2,145人減の59,132名でした。

3 地域保健

2022年度と比較して2023年度は、全体的に受診者数は増加しましたが、コロナ禍前の受診者数には回復できませんでした。

特定健診の対象となる市町の国民健康保険加入者の減少などがある中、感染拡大防止を目的として、3密を回避するための受診人数の制限を継続し、安全・安心な受診環境を整え、取り組むことができました。

実施状況は、表2のとおりです。

(1) 健康診査

健康診査の総受診者数は481人増の13,789人でした。

(2) がん検診

肺がん・結核検診は999人増の22,916人、大腸がん検診は11人増の15,862人、子宮頸がん検診は281人増の2,477人、乳がん検診は229人増の3,178人でしたが、胃がん検診は21人減の5,977人、前立腺がん検診は18人減の3,544人でした。

表2 地域保健市町別実施状況

市町名	基本					胸部 X 線		喀痰	胃部	大腸	子宮	乳房	前立腺	マルチCT	骨密度
	若年	特定	後期高齢	その他	国保外	39歳以下	40歳以上								
金沢市		843					837	10	748	604		312	139	85	164
小松市	185	429	110	2	4		7,983	149	2,270	7,024			210		
七尾市	74	1,461	641	5	182				7				1,170		
能美市	385	1,594		4	332		3,325	33	1,235	3,139			629	443	
川北町	55	174			50		367	3	116	238	112	170	163	79	132
野々市市	146	360	19		2		1,256	13	21	28		12	6		
白山市	333	718	5									5	85		
羽咋市												1			
内灘町	213	908		7	269		1,253	31	723	1,195	730	955	423		653
津幡町	264	892	361	4	242		1,512	7	664	1,361	730	785	53		
志賀町	25	783	407		88		1,588	41					68		
中能登町	13	588	387	15	143		1,324	11		1,094			354		157
穴水町												1			
輪島市							1,411	14			135	913			
かほく市	283	1,093		3	233		1,453	9	193	1,179	770	809	244		204
合計	1,976	9,843	1,930	40	1,545	0	22,309	318	5,977	15,862	2,477	3,178	3,544	607	1,310

※1 かほく市 : 胃ABC検診

※2 川北町 : 子宮112名 内10名HPV検査実施

※3 かほく市 : 子宮770名 内97名HPV検査実施

4 学校保健

児童・生徒の健康管理については、心臓検診（心電図・心音心電図検査）、腎臓・糖尿検診（尿検査）、ぎょう虫・寄生虫検査を集団検査として実施しています。これらの検診・検査は、小児期における心臓病・腎臓病・糖尿病・感染症等の早期発見や生活指導における情報として活用していただいています。

2023年度も引き続き更なる精度管理の徹底、

正確・迅速な結果報告に取り組みました。また、2020年度から導入した全自動尿統合分析装置による、確実な検査・判定システムの高い精度及び業務効率を考慮した検査体制を維持できました。

(1) 尿検査

尿検査は、小児期における腎疾患と若年性糖尿病の早期発見を目的としています。2023年度の受診者数は、2,873人減の136,624人でした。

実施状況は、表3、4のとおりです。

表3 尿検査（腎臓病検診）実施状況

		一次検尿			二次検尿				
		実施者数	陽性者数 *1	陽性率	実施者数	提出率	陽性者数	2次 陽性率	陽性率
		A (人)	B (人)	B/A(%)	C (人)	C/B(%)	D (人)	D/C(%)	D/A(%)
幼稚園 *2	男	12,033	112	0.93	96	86	20	20.83	0.17
	女	11,068	195	1.76	165	85	38	23.03	0.34
	計	23,101	307	1.33	261	85	58	22.22	0.25
小学校	男	28,917	268	0.93	253	94	63	24.90	0.22
	女	27,455	613	2.23	573	93	130	22.69	0.47
	計	56,372	881	1.56	826	94	193	23.37	0.34
中学校	男	14,597	741	5.08	682	92	82	12.02	0.56
	女	13,977	678	4.85	597	88	83	13.90	0.59
	計	28,574	1,419	4.97	1,279	90	165	12.90	0.58
高等学校	男	13,414	747	5.57	685	92	82	11.97	0.61
	女	12,654	683	5.40	577	84	70	12.13	0.55
	計	26,068	1,430	5.49	1,262	88	152	12.04	0.58
その他の学校	男	1,726	98	5.68	85	87	16	18.82	0.93
	女	783	44	5.62	31	70	6	19.35	0.77
	計	2,509	142	5.66	116	82	22	18.97	0.88
男 計		70,687	1,966	2.78	1,801	92	263	14.60	0.37
女 計		65,937	2,213	3.36	1,943	88	327	16.83	0.50
合計		136,624	4,179	3.06	3,744	90	590	15.76	0.43

*1・・・蛋白・潜血どちらか一方でも±以上の者とする

(但し2020年度より金沢市の小・中学校のみ、蛋白・潜血ともに+以上を陽性判定に変更)

*2・・・保育所・保育園を含む

表4 尿検査（糖尿検診）実施状況

		一次検尿			二次検尿				
		実施者数	陽性者数 *1	陽性率	実施者数	提出率	陽性者数	2次 陽性率	陽性率
		A (人)	B (人)	B/A(%)	C (人)	C/B(%)	D (人)	D/C(%)	D/A(%)
幼稚園 *2	男	12,033	2	0.02	2	100	0	0.00	0.00
	女	11,068	4	0.04	2	50	0	0.00	0.00
	計	23,101	6	0.03	4	67	0	0.00	0.00
小学校	男	28,917	15	0.05	10	67	4	40.00	0.01
	女	27,455	14	0.05	9	64	1	11.11	0.004
	計	56,372	29	0.05	19	66	5	26.32	0.01
中学校	男	14,597	11	0.08	7	64	2	28.57	0.01
	女	13,977	16	0.11	11	69	2	18.18	0.01
	計	28,574	27	0.09	18	67	4	22.22	0.01
高等学校	男	13,414	26	0.19	21	81	6	28.57	0.04
	女	12,654	14	0.11	12	86	3	25.00	0.02
	計	26,068	40	0.15	33	83	9	27.27	0.03
その他の学校	男	1,726	5	0.29	4	80	0	0.00	0.00
	女	783	2	0.26	0	0	0	0.00	0.00
	計	2,509	7	0.28	4	57	0	0.00	0.00
男 計		70,687	59	0.08	44	75	12	27.27	0.02
女 計		65,937	50	0.08	34	68	6	17.65	0.01
合 計		136,624	109	0.08	78	72	18	23.08	0.01

*1・・・尿糖が+以上の者とする

*2・・・保育所・保育園を含む

(2) 心臓検診

学校や家庭での心臓病による突然死を防ぐことを目的に、基本的に小中学校1年生には、心音

図心電図検査、高等学校1年生には、心電図検査を専門医に指導いただき実施しています。実施状況は、表5のとおりです。

表5 学校心臓検診実施状況

区分		結果	2023年度（最終報告）				2022年度（最終報告）			
			実施者数 A(人)	精検対象 者数 B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国 (%)	実施者数 A(人)	精検対象 者数 B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国 (%)
男	小学校	1年生	321	7	2.18	2.97	289	6	2.08	2.83
		4年生	109	2	1.83		117	9	7.69	
		他学年	4	1	25.00		3	0	0.00	
		計	434	10	2.30		409	15	3.67	
	中学校	1年生	393	27	6.87	3.51	439	25	5.69	3.34
		他学年	2	0	0.00		5	0	0.00	
		計	395	27	6.84		444	25	5.63	
	高等学校	1年生	5,016	207	4.13	3.66	4,819	182	3.78	3.78
		他学年	14	0	0.00		18	4	22.22	
		計	5,030	207	4.12		4,837	186	3.85	
	特別学校	232	20	8.62		224	30	13.39		
	合計	6,091	264	4.33		5,914	256	4.33		
女	小学校	1年生	261	3	1.15	2.11	268	10	3.73	2.16
		4年生	105	2	1.90		100	4	4.00	
		他学年	6	0	0.00		5	0	0.00	
		計	372	5	1.34		373	14	3.75	
	中学校	1年生	406	16	3.94	2.77	459	20	4.36	2.78
		他学年	2	0	0.00		3	0	0.00	
		計	408	16	3.92		462	20	4.33	
	高等学校	1年生	4,687	141	3.01	2.38	4,508	132	2.93	2.52
		他学年	7	1	14.29		9	0	0.00	
		計	4,694	142	3.03		4,517	132	2.92	
	特別学校	116	18	15.52		106	16	15.09		
	合計	5,590	181	3.24		5,458	182	3.33		
	合計	11,681	445	3.81		11,372	438	3.85		

※精検対象者は、要精密検査者と病院管理中の者

※精検率全国値は、文部科学省の学校保健統計調査統計表一覧を引用

(3) 寄生虫検査

実施状況は、表 6 のとおりです。

2016 年度に学校保健安全法が改正され、ぎょう虫検査につきましては、任意項目となりました。2023 年度の実施件数は、2,043 件減の 6,572 件でした。

表 6 寄 生 虫 検 査 実 施 状 況

結果 区分	2 日 法			4 日 法		
	実施者数*1	保卵者数	保卵率	実施者数*1	保卵者数	保卵率
	A (人)	B (人)	B/A(%)	A (人)	B (人)	B/A(%)
幼稚園 *2	2,012	0	0.00	4,557	0	0.00
その他の学校	3	0	0.00	0	0	0.00
合 計	2,015	0	0.00	4,557	0	0.00

寄生虫実施なし

*1・・・同一学校で年 2 回実施している場合は、延べ数で集計した

*2・・・保育所・保育園を含む

5 医学検査

2023年度も健診、人間ドック、クリニックの検体検査において、精度の維持・向上を基本とし、お客様にご満足いただけるサービスの提供に貢献する検査体制の構築に努めました。

臨床検査部門では、自動グリコヘモグロビン分析計の更新、特殊健康診断尿持帰り検査の拡充に取り組みました。

2023年度実施した検査は、表7に示したように、合計3,586,024件で、検査実施数が増加しました。

遺伝子関連・染色体検査のうち、ノロウイルス検査は、対前年度124件減の1,135件を実施しました。また、新型コロナウイルスPCR検査は194件実施しました。

その他の検査17,364件は、主に尿中代謝物検査となります。

一般検査のうち、持ち帰り尿検査110,204件、学校検尿検査140,477件、ぎょう虫卵検査6,572件を実施しました。

大腸がん検査は、対前年度3,147件増の80,607件を実施しました。

表7 検査実施状況

▲印は減少

検査別	2023年度	2022年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
尿・糞便等一般検査	274,883	279,205	▲4,322
血液学的検査	605,625	589,156	16,469
遺伝子関連・染色体検査	214,750	205,221	9,529
免疫学的検査	96,503	101,439	▲4,936
生化学的検査	2,282,565	2,219,835	62,730
大腸がん検査	80,607	77,460	3,147
病理学的検査	13,727	12,893	834
その他の検査	17,364	15,647	1,717
合計	3,586,024	3,500,856	85,168

表8 石川県成人病予防センター様検査実施状況

▲印は減少

検査別	2023年度	2022年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
一般臨床検査	0	0	0
血液学的検査	18,456	18,027	429
血清学的検査	1,274	1,173	101
臨床化学的検査	19,007	18,752	255

表9 検査実施状況

▲印は減少

検査別	2023年度	2022年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
SS	109,705	103,954	5,751
EHEC	102,611	96,568	6,043
O157	1,105	1,359	▲254
腸内細菌検査計	213,421	201,881	11,540
ノロウイルスリアルタイムPCR法	1,135	1,259	▲124

6 環境検査

環境検査部門では、対象となる事業所の作業員が防護マスクを適切に装着できていることを確認するための「フィットテスト」を、新規事業として開始しました。

料金の適正化を図るため、食品検査では「ふぐ毒」及び「貝毒」の検査、簡易専用水道検査では「書類検査」、作業環境測定では測定全般の料金改定を行いました。食品安全マネジメント規格「JFS-A/B規格」の監査契約件数は、昨年度比2件増の25件となりました。また、人材教育による効率化と合理化に努め、適切な業務体制を実現できました。

今後も、環境検査事業を通じて「健康・安全・安心」に貢献できるよう、精度の維持・向上、業務の合理化・効率化に努めていきます。

(1) 食品検査

全体の検査件数は、昨年度比819件減の10,511件でした。

「業務分担の見直し」と「複数担当制」を強力に推進し、人材教育による業務改善に努めたとともに、作業環境測定との分析機器の共用を図ることで、資産の有効利用とコスト削減、そして、他機関との競争力強化に努めました。また、ISO17025については、細菌検査の生菌数及び理化学検査のナトリウムの認定更新、検査精度の維持・向上に努めました。

食品検査実施状況は表10のとおりです。

表10 食品検査(項目別)実施状況

▲印は減少

項目分類	2023年度	2022年度	対前年度比 増減件数
細菌検査	5,604	5,907	▲303
衛生検査	2,627	3,003	▲376
理化学検査	658	753	▲95
有害物質検査	619	650	▲31
規格検査	533	483	50
異物検査	131	161	▲30
輸入食品検査	65	69	▲4
放射性物質検査	50	71	▲21
HACCP導入支援業務 (JFS監査業務含む)	68	72	▲4
その他(再発行手数料等)	156	161	▲5
合計	10,511	11,330	▲819

(2) 簡易専用水道検査

全体の検査件数は、昨年度比 29 件減の 828 件（現場検査：713 件、書類検査：115 件）でした。

精度管理については、外部研修会への積極的な参加と信頼性確保部門による内部監査の定期的な実施により、全国給水衛生検査協会主催の外部精度管理調査において、S ランクを維持することができました。また、書類検査について、10 月から新料金の運用を開始し、料金の適正化を図りました。

「簡易専用水道検査員からのアドバイス」の報告書への添付を継続し、更に具体的で分かりやすい改善提案に努め、多くの改善につなげることができました。

(3) 作業環境測定

全体の検査件数は、昨年度比 134 件減の 2,517 件でした。

新規事業として、防護マスクの「フィットテスト」を 6 月から開始し、測定件数は 32 件でした。なお、10 月から新料金の運用を開始し、料金の適正化を図りました。また、「作業環境測定士からのアドバイス」の報告書への添付を継続し、測定結果の報告だけでなく、労働安全全般の改善に向けた積極的な提案に努め、安全で安心して働ける職場づくりに寄与することができました。

作業環境測定の実施状況は、表 11 のとおりです。

表 11 労働安全衛生法第 65 条に基づく定期作業環境測定実施状況

▲印は減少

検査分類	2023 年度	2022 年度	対前年度比 増減件数
有機溶剤測定	776	782	▲6
特定化学物質測定 (溶接ヒューム濃度測定含む)	588	636	▲48
粉じん測定	353	369	▲16
金属測定	95	137	▲42
騒音測定	112	85	27
空気環境測定 (事務所則含む)	472	561	▲89
フィットテスト	32	0	32
その他測定 (制御風速等)	89	81	8
合計	2,517	2,651	▲134

(4) 計量証明事業

全体の検査件数は 315 件でした。

計量証明事業の実施状況は表 12 のとおりです。

表 12 計 量 証 明 事 業 実 施 状 況

▲印は減少

検 査 分 類	2023 年度	2022 年度	対前年度比 増減件数
大 気 測 定	252	272	▲20
その他(計量対象外等)	63	45	18
合 計	315	317	▲2

7 総務事項

(1)理事会開催状況

2023年6月期定例理事会

2023年6月6日(火)

報告事項1

任期満了に伴う理事・監事・改選事務局(案)について

報告事項2

任期満了に伴う代表理事・理事長再任に関する書面理事会開催(案)について

第1号議案

2022年度(令和4年度)事業報告(案)について

第2号議案

2022年度(令和4年度)決算(案)について
第1~2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

2023年6月期理事会(書面決議)

2023年6月26日(月)

任期満了に伴う代表理事・理事長の互選について、松崎充意理事長が再選されました。

2024年3月期定例理事会

2024年3月1日(金)

第1号議案

2024年度(令和6年度)事業計画(案)について

第2号議案

2024年度(令和6年度)収支予算(案)について

第1~2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

(2)評議員会開催状況

2023年6月期定例評議員会

2023年6月26日(月)

第1号議案

任期了に伴う理事・監事・改選事務局(案)について

選任された理事10名

松崎 充意 理事長 (再任)

魚谷 知佳 専務理事 (再任)

金地 雅之 理事 (再任)

竹松 俊一 理事 (再任)

中川 秀昭 理事 (再任)

中村 太郎 理事 (再任)

松崎 陽充 理事 (再任)

松崎 伸彦 理事 (新任)

松崎 宏子 理事 (再任)

安田 健二 理事 (再任)

選任された監事2名

松本 耕作 監事 (再任)

米井 裕一 監事 (再任)

第2号議

2022年度(令和4年度)事業報告(案)について

第3号議案

2022年度(令和4年度)決算(案)について
第1~3号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

2024年3月期定例評議員会

2024年3月18日(月)

第1号議案

2024年度(令和6年度)事業計画(案)について

第2号議案

2024年度(令和6年度)収支予算(案)について

第1~2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

8 啓発活動報告

公益活動の一環として、乳がん「かなざわピンクリボンプロジェクト」に参画し、がん早期発見のための啓発活動を行いました。

◇かなざわピンクリボンプロジェクト

開催日：2023年10月15日(日)

会場：犀川河川敷緑地公園

内容：活動では、メッセージイベント等の取り組みに参画し、乳がん検診の啓発に協力しました。

9 学会発表状況

第57回 全国予防医学技術研究会

日時：2024年3月7、8日

会場：関東学院大学 横浜・関内キャンパス

内容：上腕式自動血圧計のタイプ別比較検討

発表者：清川 牧希

内容：巡回健診における尿検査測定方法の変更と運用について

発表者：大島 芙紀子

内容：腹部超音波受診者を対象にした脂肪肝の新基準 MAFLD の調査

発表者：吉光 志織

内容：当協会で開催した子宮がん検診受診者のHPVワクチン接種の有無による細胞診検査成績の検討

発表者：新出 友美

第52回 日本総合健診医学会

日時：2024年1月26、27日

会場：倉敷アイビースクエア

内容：腹部超音波検査の実施状況と今後の課題について

発表者：岩田 みどり

10 会議・研修実施状況

◇ 各種学会関係

第96回日本産業衛生学会 5月9日～5月12日	栃木県
健診事務職育成についての研修会（基礎編） 5月1日～6月30日	Web参加
第72回日本医学検査学会・研修会 5月20日～5月21日	群馬県
産業保健研修会 5月21日	石川県
メディカル・フィットネス協会認定 ングトレーナー養成講習会 5月21日	ウォーキ 大阪府
人間ドック学会における健診事務職育成研修 5月21日	Web参加
第90回日本消化器内視鏡技師学会 5月26日～5月27日	Web参加
第26回乳房超音波技術更新講習会 6月3日	大阪府
産業医研修会 6月3日～6月4日	東京都
第48回日本超音波検査学会学術集会 6月10日～6月11日	Web参加
第62回日本消化器がん検診学会総会 6月30日～7月2日	Web参加
予防医学中央会 生化学研修会 7月27日～7月28日	東京都
腹部超音波検査ハイブリッド研修会 8月5日	Web参加
第40回 全国情報統計研修会（予防医学事業 中央会） 8月24日～8月25日	群馬県
第64回人間ドック学会 学術集会 8月31日～9月1日	群馬県
第1回日医認定産業医研修会 9月3日	石川県
予防医学事業中央会 2023年度保健指導研修 委員会 9月7日	東京都
第29回乳房超音波技術更新講習会 9月9日	東京都
第8回胃がん検診専門技師研修会 10月2日	Web参加
日本医療検査科学会第55回大会 10月7日～10月8日	神奈川県
第91回日本消化器内視鏡技師学会 11月4日	奈良県
第62回日本臨床細胞学会（秋期大会） 11月16日	Web参加
東振協 事業報告会及び事務連絡会 11月24日	東京都

2023年度 日臨技臨床検査精度管理調査報告
会

11月25日	千葉県
第43回北陸消化器内視鏡技師学会 11月26日	石川県
第24回北陸消化器内視鏡機器取扱い講習会 11月26日	石川県
令和5年度日臨技中部圏支部医学検査学会 12月2日～12月3日	石川県
令和5年度予防医学事業推進近畿・東海・北陸 地区会議 12月21日～12月22日	
第33回日本乳癌検診学会学術総会 1月17日	Web参加
予防医学事業中央会 令和5年度「保健指導研 修会」 1月25日～1月26日	東京都
日本総合健診医学会第52回大会 1月26日～1月27日	岡山県
HLC-723GR01 トレーニングスクール 2月3日・3月16日	東京都
令和5年度全国業務研修会 2月14日～2月16日	宮崎県
第30回日本CT検診学会学術集会 2月17日	Web参加
第57回全国予防医学技術研究会 3月6日～3月8日	神奈川県
令和5年度臨床検査精度管理調査報告会 3月8日	東京都
第32回乳房超音波更新講習会 3月9日	東京都
第31回日本CT検診学会学術集会 3月11日	Web参加

◇ 日本作業環境測定協会等関係

(公社)日測協 北信越支部運営委員会 5月12日	新潟県
令和5年度 一般社団法人全国給水衛生検査協 会 東海北陸支部総会及び研究会 5月25日～5月26日	岐阜県
令和5年度 石川県環境計量協会総会 6月9日	石川県
令和5年日本作業環境測定協会北信越支部通常 総会 6月14日	富山県
令和6年度 日本作業環境測定協会石川分会 6月21日	石川県

令和 5 年度支部 34 条技術委員会・研修会
 9 月 29 日 愛知県

令和 5 年度（第 46 回）石川県産業安全衛生大会
 10 月 16 日 石川県
 作業環境管理専門家養成講習
 10 月 20 日 東京都
 認定簡易専用水道検査員講習会
 10 月 23 日 東京都
 化学物質管理専門家養成講習
 10 月 24 日～11 月 2 日 東京都
 作業環境測定士登録講習（第一種登録講習（特化則））
 10 月 31 日～11 月 1 日 大阪府

令和 5 年度簡易専用水道検査外部精度管理調査
 11 月 17 日 愛知県
 （公社）日測協 北信越支部運営委員会
 11 月 24 日 長野県
 化学物質管理者研修
 1 月 26 日 石川県

令和 5 年度日本作業環境測定協会北信越支部技術研修会
 2 月 13 日 富山県

令和 5 年度作業環境測定士等対象の研修会
 2 月 22 日 石川県

◇ 食品衛生指定検査機関等関係

JFSM 会員報告会 2023 年春（食品安全マネジメント協会主催）
 5 月 11 日 Web 参加

令和 5 年度第 1 回 HACCP 普及指導員研修会
 6 月 14 日 Web 参加

HACCP 妥当性確認・検証研修
 10 月 23 日 Web 参加

JFS 規格適合証明規格運用連絡会
 6 月 14 日 Web 参加

北陸 HACCP システムシステム研究会総会
 6 月 27 日 石川県

関西地区輸入食品登録検査機関懇談会 令和 5 年度総会、研修会
 7 月 21 日～7 月 22 日 大阪府
 結果の妥当性を確保できるラボラトリであり続けるために

8 月 4 日 Web 参加

FSSC22000Ver.6 移行概要説明会
 9 月 4 日 Web 参加

令和 5 年度第 2 回 HACCP 普及指導員研修会
 10 月 12 日 Web 参加

JFS 規格適合証明プログラム運用ハーモナイゼーション会議
 10 月 20 日 Web 参加

食品安全研修
 12 月 20 日～12 月 22 日 Web 参加

食品安全コンベンション 2023
 11 月 16 日 Web 参加

器具・容器包装研修会
 11 月 17 日 Web 参加

北陸 HACCP システム研究会
 12 月 14 日 石川県

日本食品分析センター HACCP 講習会 3 日間コース
 12 月 20 日～12 月 22 日 東京都

BML 社主催：JFS-B 規格監査員研修
 12 月 27 日 Web 参加

実験動物管理者等研修会
 2 月 8 日 Web 参加

JFS 規格適合証明規格運用連絡会
 2 月 9 日 Web 参加

関西地区輸入食品登録検査機関懇談会
 2 月 22 日 大阪府

令和 5 年度 食品添加物研修会
 2 月 29 日 Web 参加

FSSC22000Ver.6 移行説明会
 3 月 6 日 Web 参加

2024 年フォローアップ研修（JFS-B 規格）
 3 月 15 日 Web 参加

令和 5 年度第 4 回講演会「食品安全マネジメントについて」
 3 月 7 日 石川県

令和 5 年度「業務管理研修会」
 3 月 21 日 Web 参加

◇ 労働基準協会関係

石川県産業安全衛生大会
 10 月 16 日 石川県